

【開発中の教材と関連の話題】

英語教育における iPod デジタル教材の開発

英語教育講座 吉田晴世

hyoshida@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

1 小学校外国語(英語)活動必修化に向けてのコア人材養成

2008年3月28日に公表された新学習指導要領案では、小学校5,6年生における外国語(英語)活動の年間35時間の必修化が設定されており、そこでは、「指導計画の作成や授業の実施については、学級担任の教師又は外国語活動を担当する教師が行うこと」というように学級担任による指導が基本事項として示されている。また、教育職員免許法施行規則の改正により、「教職実践演習」が導入されるとともに、教育実習の円滑な実施及び教職指導が大学の努力義務として規定されており、外国語(英語)活動の指導においても高度な教育実践力を身につけた教員を養成することは教育大学の責務である。

学級担任が主体となって、英語活動を進めるにあたり、教員の指導力向上と授業の補助のために、ALT、地域人材等の人的補助だけでなく、ICTの活用は重要な課題である。実際、文部科学省は、教材のダウンロードができるホームページを開設し、英語ノートの内容に基づいた電子黒板を開発している。小学校外国語(英語)活動においてICTが活用できる教員を育成することは急務の課題である。

2 教育現場で利用可能なデジタル教材作成能力の養成

新学習指導要領に示されているように、「小学校段階では、音声を柔軟に受け止めるのに適していることなどから、音声を中心とした英語のコミュニケーション活動」が重視される。ここでは、小学校外国語指導のための音声を中心とした学習(発音、物語の読み方、教室で使用する外国語等)において、多量の反復練習が必要となる。具体的には、iPod及びPodcastの利用を前提にしたデジタルコンテンツの教材開発を行う。完成した教材は、Web配信により共有利用することで教育効果を高めるとともに、モニターしてもらい改善につなげることを予定している。今年度は、その準備段階として、小学校英語教材に限定せず、デジタルコンテンツの教材開発を行える能力の養成に焦点をあてた。

3 iPod用デジタル教材開発のための講習と実践

上記2のデジタル教材開発のために、MacBookを使用しての教材作成講習会を2008年9月16日、17日の2日間、計12時間実施した。参加者は本講座の院生、他講座の学部生であり、

デジタル・ビデオカメラと iTouch を併用した教材開発の指導を受けた。MacOSX の操作方法来に始まり、アプリケーションソフト(Keynote, iMovie)の使用法、Podcast のしくみと作成方法についての解説を受け、実際に Web にアップロードするところまでを習得した。

将来的には、小学校での英語活動のための教材作成を目指しているが、現時点では、必修化は決定しているものの、教科としては認められておらず、明確な指導基準が確定していない。さらに、今回は、教員養成として「デジタル教材を作成できる能力」を習得することが主目的であるため、9月、10月の2ヶ月を費やし、小学校英語活動のための会話集ならび、中学校で学習する文法事項約30項目について、ビデオ Podcast を作成し、以下の URL へのアップロードを行った。

<http://magic.k12.osaka-kyoiku.ac.jp/podcast/>

文法項目を、ビデオ Podcast で提示するという試みは、初習の外国語を中学生が理解する際、英文法は理論だけでは学習することが難しく、状況設定がなされた場面で画像を利用して示すことで、理解度を促進することを目的としている。

ビデオ Podcast 作成にあたっては、次の3種類の手法をとった。

- 1) デジタル・ビデオカメラで撮影した画像を iMovie で編集し、QuickTime 形式で保存。

【例】小学校英語活動 体はって BODY PARTS!! : 「体を使って Body Parts を学んでから楽しく踊りましょう」というメッセージで、映像をみながら一緒に動作し、同時に身体の名称を学ばせる。

http://magic.k12.osaka-kyoiku.ac.jp/podcast/?p=episode&name=2008-09-17_myfirstproject.m4v

【例】中1 命令文導入 : 同じシチュエーションでそれぞれ日本語 *ver* → 英語 *ver* とし、映像と日英の比較により命令文のニュアンスを指導。

http://magic.k12.osaka-kyoiku.ac.jp/podcast/?p=episode&name=2008-10-03_.m4v

- 2) Keynote で作成した教材を、QuickTime 形式で保存。

【例】中2 不定詞導入 : 日本人学習者にとって理解が困難とされる不定詞を、画像クリップと吹き出しの台詞を利用して、名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法の違いを解説。

http://magic.k12.osaka-kyoiku.ac.jp/podcast/?p=episode&name=2008-10-18_.mov

- 3) Windows の PowerPoint で作成した教材は QuickTime 形式では保存できないため、それを Keynote で読み込み、QuickTime 形式で再保存。

【例】中1 3人称単数現在 : 日本語にはない3人称単数の概念を、Hana という少女を語り手にし、外国の少年、犬などを登場させ、それにより動詞がどのように変化するかを提示。

http://magic.k12.osaka-kyoiku.ac.jp/podcast/?p=episode&name=2008-11-27__s.mov